

令和5年5月12日
愛媛大学

公益財団法人日本公衆電話会から 愛媛大学防災情報研究センターへの 「災害時連絡方法のてびき」の贈呈式について

このたび、愛媛大学防災情報研究センターは、公益財団法人日本公衆電話会から「災害時連絡方法のてびき」500冊及び「災害用伝言ダイヤル171周知用ポケットティッシュ・マスク」各500個を寄贈いただきます。

本冊子は日本公衆電話会が作成したもので、災害時に役立つ「災害用伝言ダイヤル171」・「災害用伝言版 Web171」など災害時に安否確認する利用方法等が記載され、万が一の場合に備えて、家族間で「避難方法・連絡方法」等を話し合い決める一助となるものです。あわせて、防災ツールのポケットティッシュ・マスクには、災害用伝言ダイヤル171の利用方法がわかりやすく記載されています。

これらは、本年度開講予定の愛媛大学公開講座「防災士養成講座」にて配布させていただく予定です。

つきましては、下記のとおり贈呈式を実施しますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 日 時 令和5年5月15日(月) 13:30~14:00
2. 会 場 愛媛大学 城北キャンパス 社会連携推進機構 2階会議室
愛媛県松山市文京町3番
3. 出席者 (1) 日本公衆電話会
愛媛支部 副支部長 岡崎 充隆 (おかざき みつたか)
四国統括支部 事務局長 白石 健一 (しらいし けんいち)
// 担当部長 榎宮 昭彦 (えのみや あきひこ)
(2) 愛媛大学防災情報研究センター
センター長 バンダリ ネットラ プラカシュ

本件に関する問い合わせ先

国立大学法人愛媛大学社会連携推進機構

防災情報研究センター 藤本

TEL: 089-927-8974

MAIL: kensien@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料3枚(本紙を含む)

城北キャンパス

〒790-8577 松山市文京町3番 TEL 089-927-9000(代)

公益財団法人日本公衆電話会から
愛媛大学防災情報研究センターへの
「災害時連絡方法のてびき」の贈呈式について
日 時：令和5年5月15日(月)
13時30分～14時00分
場 所：社会連携推進機構 2階会議室



J O H O K U
C A M P U S

(参考) 公益財団法人日本公衆電話会とは

(公財)日本公衆電話会は、平成24年10月1日に、財団法人から公益財団法人に移行しました。これは平成18年に施行された「公益財団等の認定に関する法律」に基づくもので、昭和47年から、町の公衆電話である「赤電話・青電話」の受託者に組織された『赤電話会』から『財団法人日本公衆電話会』として移行して以来、財団法人移行後40年、「赤電話会」から60年の歴史を引き継ぎ、公益財団法人として移行したものです。

今回、公益財団化にあたっては、旧法人の設立の趣旨、活動等をほぼそのまま引き継ぐとともに、新たに、『地域社会の安全と安心の向上と健全な地域社会生活の充実に寄与する』ことを目的として掲げ、新たに公益事業を行う組織として出発したものです。

設立目的等

地域社会の安全と安心の向上と健全な地域社会生活の充実に寄与するため、以下の事業を推進

- (1) 「清潔・快適・便利な」公衆電話の利便向上に向けた事業
- (2) 「安全で安心できる地域社会」の実現に向けた事業
- (3) 地域活動、ボランティア活動等その他社会貢献に向けた事業 等

組 織

本部を東京に置き、全国11地域に統括支部、また、各県単位に支部があります。(全国11統括支部、47支部) なお、全国の会員数は約2.1万会員、会員公衆電話機数は3.5万台です。

主な活動内容

- (1) 「清潔・快適・便利な」公衆電話を基本とした利便向上に向けた事業
- (2) 「安全で安心できる地域社会」の実現に向けた事業
- (3) 社会生活に有用な情報を提供するための調査研究に関する事業
- (4) 地域活動、ボランティア活動その他の社会貢献に向けた事業
- (5) その他、公益目的を達成するために必要な事業